



JSC Japan Senior Community メールマガジン第81号 - Weldery Project Zoom 研究会報告

From 正明 高嶋 <masaaki.takashima@outlook.com>

Date Sat 2025-08-30 5:34



JSC Japan Senior Community の皆さんへ、

8月23日（土）・24日（日）に開催された海外在留邦人が日本に本帰国する際のCo-operative House（住民参加型共同住宅）についての Weldery（元気な中高年）Projectの資料を、主催者の木村真治氏から了解を得て、皆さんと以下に共有します。最後のスライドのページにこのプロジェクトの関連動画・先日のZoom ミーティングの紹介動画のリンクを掲載しましたので、ご興味の有る方はご覧ください。

<https://jscuk.org/wp-content/uploads/2025/08/24a.pdf>

更に、木村氏から以下の追加のコメントがありましたので、お知らせします。

- 1) Co-operative Houseの建築については既に私共にノウハウが有り、このプロジェクトへの賛同者が集まって、必要資金を準備出来れば必ずCo-operative Houseを提供出来ます。しかし、グローバルな資金移動や金融・税制の違いをクリアしなければならず、そこをどう乗り越えるかが鍵となります。
- 2) Zoomでもお伝えした通り、Co-operative Houseは完成まで2～3年かかる上に、非常に手間がかかる為に年間に多分2箇所位ずつしか出来ないのではと思います。我々もどんどん事業拡大して行くと言うよりは、気長に良いものをコツコツと提供して行きたいと考えております。
- 3) JSC Japan Senior Communityのインターネットサイトを拝見しました。素晴らしい活動ですね！アメリカでも現地に日本の介護施設をと言う要望を伺いますが、日本はただでさえ人

口減少社会の中、介護従事者の給与が低く、日本国内でも人手不足な状況を見ると、海外に介護の人材を送り込むのは中々厳しいかも知れません。その上、海外に介護施設を作った後に運営会社が経営破綻したり、介護スタッフの確保が難しくなったりするとそれこそ大変な事になりそうでもあります。

4) Zoomでもお話しした通り、日本の国の基本方針は施設介護より在宅介護です。そう考えると、日本に医療・介護サービスプロバイダーと連携した在宅介護が受けやすく、介護状態になりづらい建物、価値観を同じくする仲間のコミュニティを作る事はより現実的なソリューションではないかと思います。問題は日本ではローンは厳しいので資金調達と税務です。今、英国ポンドが高いので英国の不動産を売却して日本で老後を暮らすのは有利な選択にも思われますが如何でしょうか？

以上、皆さんの老後の棲家を選ぶ選択肢の一つとして参考に成れば幸いです。

高嶋

(追伸)

＊JSC Japan Senior Community の活動内容については、インターネットサイト

<https://jscuk.org> をご覧ください。会員専用ページのパスワードは "yumenoki" です。

＊JSC Japan Senior Communityについてご意見・ご要望が有りましたら、いつでもご連絡ください。

＊このJSC Japan Senior Communityメールマガジンは旧終活同好会・JSC Japan Senior Communityの皆さんに送付しています。

＊このJSC Japan Senior Communityメールマガジンのバックナンバーは、インターネットサイト <https://jscuk.org> からご覧頂けます。

＊このJSC Japan Senior Community メールマガジンの購読を希望されない場合は、ご一報ください。メーリングリストから削除して、配信を停止します。